

母国語のセンスを磨こう

今回の話題は、何度か会社の会議で日本人社員、タイ人社員に話したことです。

(記憶しているかどうかは不明ですが・・・)

当社は言葉を扱う会社なので、タイ人社員は英語か日本語、日本人社員は英語かタイ語、
が出来るケースが多いです。

仕事を向上させる際に、重要なこととして、いくら外国語（英語、日本語、タイ語）が出来ても、母国語で知らないことは外国語では入らない・・・と思っています。

また、その母国語は「ただ話せます、書けます」というレベルではなく、状況に応じて正しい使い方であること、適切であることが求められます。

私は6年前に、社会人学生として日本の大学で法律を学んだことがあります。

その理由は、タイで仕事をしているのでタイの法律を知る必要はあるのですが、どうしても理解できない部分があり、それで「母国語である日本語で法律を学びたい」というのがあったからです...

基礎＝母国語での知識

のないところには、外国語（私にとってのタイ語や英語）では入って行きません...

むか〜し、ある会合で会った人から、こんなことを言われました。

「せいぜい頑張ってください」

私の頭は、もう～～～混乱しました。

え??? 嫌味で言ってんの?

「頑張ってください」と言いたかった??

わざと言っている??????

真意はわかりませんが、もしかしたら、母国語での使い方の記憶が違っているのかもしれない...

母国語のセンスを磨くには...文字に触れることしかありません。

色々なジャンルの本を読み、その言葉の意図を感じる...それしかないのではないのでしょうか?

何かのご参考になれば幸いです。